

科目名	労働経済学B				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	経済学部	配当年次	2年次
教員名	ズベデリーコパー ミルカ			単位数	2単位

授業概要／Course outline

本講義は、誰もが馴染みのある「労働」を対象にし、経済学的観点から多面的に労働について考察する科目です。労働経済学の基礎理論を習得し、統計データや研究結果を用いて、労働の売り手である雇用者と買い手である企業の行動について学びます。「労働経済学A」に続き、格差、教育、家庭生活や女性・高齢者などを含む対象層の雇用をめぐる課題を取り上げます。労働や家庭に関する様々な現象を理解・分析する能力を身につけることを目標としている科目です。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業）
- 授業内容の理解確認や意見募集にICTを活用します。オンデマンド授業はMoodleで行います。

授業内容・授業計画／Course description・plan

- 第1回 オリエンテーション
本授業の流れを紹介し、労働経済学Aの内容を復習します。
- 第2回 労働市場における格差1
機会の平等と結果の平等、所得格差について学んでいきます。
- 第3回 労働市場における格差2
教育格差、賃金格差
- 第4回 教育と訓練1
人的資本、教育年数とシグナリング理論について学んでいきます。
- 第5回 教育と訓練2
企業訓練とキャリア形成について学んでいきます。
- ★オンデマンド授業（45分）
課題を解説します。
- 第6回 労働市場における差別1
好みによる差別と政策の効果について学んでいきます。
- 第7回 労働市場における差別2
統計的差別と政策の効果について学んでいきます。
- 第8回 家庭内生産1
家事と家事時間について学んでいきます。
- 第9回 家庭内生産2
分業と結婚について学んでいきます。
- ★オンデマンド授業（45分）
課題を解説します。
- 第10回 女性雇用
女性雇用のトレンドと課題について学んでいきます。
- 第11回 若年者雇用
若年者雇用のトレンドと課題について学んでいきます。
- 第12回 高齢者雇用
高齢者雇用のトレンドと課題について学んでいきます。
- 第13回 障害者雇用
障害者雇用のトレンドと課題について学んでいきます。
- 第14回 まとめ
本授業の内容を復習し、理解を深めます。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回

- 【事前学修】 シラバスと配布資料を読んでおくこと。
- 【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第2回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第3回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第4回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第5回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第6回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第7回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第8回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第9回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第10回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第11回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第12回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第13回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

第14回

- 【事前学修】 配布資料を読んでおくこと。
【事後学修】 授業内容を復習し、確認問題を解くこと。

各回の事前学習および事後復習の所有時間はやく2時間ずつ（合計4時間）です。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・労働経済学の基本的な概念を学び、労働や労働市場に対する考察を含めること。
- ・統計データや経済理論の勉強を通じて、労働に関わる諸問題の分析の仕方を身に付けること。
- ・経済学部ディプロマ・ポリシーに基づき、経済学的思考を活用して、現在の世界や日本の経済社会の動向を把握・分析する知識と教養を身に付けること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|--------|-------------|
| ・思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・幅広い教養 | 【経済学部 経済学科】 |
| ・主体性 | ・応用理論 |
| | ・政策分析能力 |

評価方法／Evaluation

課題：15%×2回
定期試験：70%

教 材／Text and materials

教科書：指定なし

参考書：

太田聡一・橘木俊詔『労働経済学入門 新版』（有斐閣、2012）

川口大司『労働経済学：理論と実証をつなぐ』（有斐閣、2017）

清家篤・風神佐知子『労働経済学』（東洋経済、2020）

Borjas, George J. 2024. Labor Economics, 9th Edition, International Student Edition. McGraw Hill.

Mankiw, Gregory N. 『マンキュー経済学I ミクロ編（第4版）』（東洋経済、2019）

質問や相談の方法／Instructor contact

メールアドレスは初回の授業で連絡します。

オフィスアワーを利用する場合、メールにより予約してください。